

TS出来形管理

3次元設計データを使用する為、どの位置に居ても管の基準高さや中心線の通りなどが液晶モニターに表示される為、従来行っていた管布設時の丁張掛けの為、計算や丁張掛け作業が不要となり、3次元設計データは床掘、管体基礎、管頂と各要素を組み合わせて構成されている為、TS出来形管理もスムーズに行うことが出来た。

